

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

部局名	企画政策部（広報室）	部局長名	知敷 憲一郎
-----	------------	------	--------

部局の 経営資源	当初予算	4,123万円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		7人	人	7人

部局の使命 (組織の存在価値)	<p>企画政策部広報室の使命は、広聴及び広報活動を充実し、開かれた市政を実現することである。</p> <p>広報薩摩川内及びホームページの リニューアルにより 広聴広報活動を充実する。</p>	組織目標像	<p>【施策の目標像】3年後</p> <p>(1) 広聴広報体制が確立している。</p> <p>(2) 広報活動の充実により開かれた市政が実現する。</p> <p>【組織の目標像】3年後</p> <p>(1) 情報を共有できる組織</p> <p>(2) 市民の意見に迅速な対応ができる組織</p> <p>(3) 研修等で常に資質向上を目指す組織</p>
--------------------	--	-------	---

平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
ふれあい市民会議の開催	9月までに7地域で開催	水引中・樋脇・入来・東郷・祁答院・下甕鹿島・里上甕地域で開催	・ 東郷・祁答院地域を除いて開催済。	・ 予定した7地域で開催できた。
市政モニター制度の充実	アンケート調査を4回実施	市政に反映できる市民生活に密着したアンケート調査の実施	・ 7月(市民に分かりやすい公文書),10月(広報薩摩川内・市議会だより)の2回実施。	・ 12月(職員の接遇),1月(エコバック利用促進)を実施し,予定した4回を実施した。
リニューアル「広報薩摩川内」の構築	上半期までに「広報薩摩川内」リニューアル化を構築	<p>(1) 広報委員会へ市民6名の参画により,市民目線での改善を推進</p> <p>(2) 増ページにより,市民へ細やかで豊富な情報を発信</p> <p>(3) 適時・的確な取材体制の確立</p>	<p>・ 第1回広報委員会を7月に開催し,市民目線での貴重な意見をいただいた。</p> <p>・ 6月10日号からリニューアル化とともに増ページし,好評を得ている。</p> <p>・ 広報紙発行業務の合間に,可能な限り取材に出向くよう努めた。</p>	<p>・ 広報委員会を第2回(11月),第3回(3月)を開催し,リニューアル後の広報紙への意見をいただいた。</p> <p>・ 独自の取材に努め,特集記事に取り組みむことができた。</p>

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

<p>市勢要覧の資料収集</p>	<p>薩摩川内市誕生 5 周年記念を意識した資料収集</p>	<p>(1) 年間スケジュールの適正管理で、適時な撮影及び的確な資料収集を実施 (2) 将来都市像「市民が創り市民が育む 交流躍動都市」を意識した資料収集を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「里のかずらたて」をはじめ季節ごとの写真撮影等資料収集中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支所との連携を取りながら、イベント・季節ごとの撮影等資料収集をした。
<p>薩摩川内市の P R</p>	<p>本市の魅力を情報発信し、交流人口増への支援</p>	<p>(1) 薩摩川内会等郷土会等を活用し、DVD（おかえりなさい）及び広報紙等による情報発信 (2) テレビ媒体の活用による年間を通じた情報発信 (3) リニューアルしたホームページでタイムリーな情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京薩摩川内会、近畿川薩会及び郷土会等で広報紙を配布、故郷の情報に喜んでいただいた。 ・ 2 イベントのテレビ広報を 2 社から 61 本情報発信した。 ・ リニューアルされたホームページにより、タイムリーな情報を発信中。検索し易いと好評である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10 イベントのテレビ広報を 4 社から 251 本の情報発信し、観客動員に努めた。 ・ ホームページのリニューアル化により、豊富な情報を発信することができた。
<p>年度中間総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 名増の充実した広報体制となり、6 月通常版(6/10 発行)の広報紙からリニューアル化と増ページを図ったことで、特集記事やまちの話題を豊富に掲載することができた。 ・ 市民目線での広報紙を目指すことから第 1 回広報委員会を 7 月に開催し、貴重な御意見をいただいた。今後 2 回開催予定。 ・ 広報担当者の資質向上を目的として、南日本新聞社写真部記者（橋口実昭氏）を講師に、写真撮影についての研修会を実施し、その後の写真撮影に成果が現れた。 			
<p>年度末総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報体制の充実とリニューアル(増ページ)化により、特集記事(東郷人形浄瑠璃、定住促進、温泉、樋脇・入来高校閉校)を企画することができた。 ・ 市民参加の広報委員会（第 1 回 7 月、第 2 回 11 月、第 3 回 3 月）を開催し、市民目線での貴重なご意見をいただいた。 ・ 第 2 回の広報担当者会において、南日本新聞社薩摩川内総局長（福永信一氏）を講師に研修会 取材の仕方・記事の書き方 を実施し、広報マンとしての資質向上を図った。 ・ ホームページは、昨年 5 月リニューアルしたことで県広報コンクールにおいて入選、「快適に見やすい構成」との評を受けている。 			